

2 生産性向上 -利益の最大化を目指す生産性向上-

(1) 農業の生産性向上

① 水田農業

プロジェクト 世界に羽ばたく持続可能な米づくり

目標

- ・「超低コスト米」の実現 R10：生産コスト7,000円未満/60kg
- ・輸出用米の作付面積 R5：321ha → R10：1,000ha
- ・「青天の霹靂」の単収 R4：522kg/10a → R8：540kg/10a
- ・玄米タンパク質含有率6.0%以下の割合 R4：79.3% → R8：90%
- ・高温年の県産米の一等米比率 R5：71.3%（高温年） → R10：90%以上

挑戦する内容

- ・「超低コスト米」栽培技術の確立
- ・多収品種の開発
- ・衛星ナビやデジタル技術等を活用した良食味・高品質生産
- ・地域に適した高温対策の確立

関係者の声
＝対話

- ・稲作を続けていくため、所得を確保できる米づくりへの取組支援（生産者）
- ・価格競争力の高い米など需要に応じた米を安定供給してほしい（取扱業者）
- ・高品質米の安定生産のための効果的な生産指導体制の構築が必要（JA）
- ・今後も高温傾向が続くと考えられるので、高温対策技術の確立や高温耐性品種の育成が必要（JA）

役割分担

- ・生産者：実証ほ等の運営、輸出用米の生産拡大
- ・農協・集出荷団体等：輸出用米の取組拡大、情報提供、現地指導
- ・産技センター：低コスト栽培に対する助言、高温対策技術の確立、衛星ナビの新機能開発
- ・県：研修会等の開催、現地指導

変革後の姿

- ・多様な市場ニーズに対応可能となり、持続可能な米産地が形成
- ・デジタル技術の活用により精度の高い生産指導が可能

令和8年度計画

挑戦する内容

- 「超プレミアム米」の取組拡大と「超低コスト米」栽培技術の確立
 - ・「超プレミアム米」挑戦農家の伴走支援（2戸）
 - ・「超低コスト米」の栽培実証（1か所）とSNSによる情報発信（1か所）
【重点エリア（農林水産事務所別ミッション）】西北地域
- 多収品種の開発
 - ・多収有望系統展示ほの設置（5か所）
 - ・普及に向けた検討会の開催
- 衛星ナビやデジタル技術等を活用した良食味・高品質生産
 - ・「青天ナビ」における地域ごとの生育診断機能の改良、収穫適期マップの実用化、土壌マップ（土壌の腐植度、分類を表示）の実用化（農総研）
 - ・生産指導の徹底（指導者研修の開催：年3回、指導拠点ほの設置、地域の生産指導PTによる技術普及（「青天の霹靂」3地域、「はれわたり」5地域））
 - ・良食味コンクールの開催（「青天の霹靂」、「はれわたり」、「まっしぐら」）
【重点エリア（農林水産事務所別ミッション）】三八地域
- 地域に適した高温対策の強化
 - ・農家とタッグを組んだ高温対策チャレンジほの設置（6地域）
 - ・高温対策チャレンジ報告会の開催（年2回）
 - ・タイムリーな水利調整のための情報連絡会議の開催（年2回）
 - ・新たな高温対策技術の確立（農総研）
【重点エリア（農林水産事務所別ミッション）】
西北地域 水稻高温対策技術の早期確立



V溝乾田直播による播種作業



多種有望系統の現地検討会

対話

- ・部会や研修会等の場で意見を聞き取り、事業構築に反映（7月、1月）